



ニセコ町市街地 1965(昭和40)年



共和町・国富鉱業所 1959(昭和34)年



ニセコ町・収穫風景 1964(昭和39)年



海岸での薪拾い 1966(昭和41)年



共和町・開拓農家の葬式 1974(昭和49)年

住む人、働く人、去る人…

# 前川茂利写真展

ニセコの暮らし しりべしの暮らし 羊蹄山ろくの暮らし

2016年6月25日(土) ▶ 8月21日(日)

【料金】常設展観覧料のみで鑑賞可 9:00~17:00[入場は16:30まで] 会期中無休  
 常設展観覧料:一般500円(400円)/高校生100円/中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料 ※( )は10名以上の団体料金・JAF会員割引  
 年間パスポート:一般800円、高校生200円(発行日から1年間有効)

ニセコ町・有島記念館 特別展示室 〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地  
 TEL.0136-44-3245 / FAX.0136-55-8484  
 【主催】ニセコ町・有島記念館 【協力】共和町教育委員会、共和町・かかし古里館、共和町・西村計雄記念美術館



共和町・田茅沼炭鉱専用鉄道発見駅 1964(昭和39)年

## 会期中に開催される同展関連事業

- ◆担当学芸員によるギャラリートーク  
 【日時】2016年6月25日(土)、8月20日(土) 各日13:00開始 【講師】伊藤大介(有島記念館主任学芸員) 【料金】参加費無料(要観覧料)
- ◆講演会「なぜ地域の歴史を掘り起こすのかー北海道における戦後開拓、空襲、捕鯨の歴史を中心に」  
 【日時】2016年7月17日(日) 13:00開始 【講師】菊地慶一(文筆家) 【料金】参加費無料
- ◆ギャラリートーク「共和の写真家・前川茂利」  
 【日時】2016年8月6日(土) 13:00開始 【講師】磯崎亜矢子(共和町・西村計雄記念美術館学芸員) 【料金】参加費無料(要観覧料)



グランプリ受賞作品 伊藤正和「潮干狩り日和」

## 同時開催

「北海道新幹線開業記念-大鉄道写真展 ニセコ展」

2016年6月25日(土) ▶ 10月10日(月・祝)

【会場】有島記念館小ギャラリー 【料金】観覧無料  
 【審査員】荒川好夫(鉄道写真家) 矢野直美(フォトライター)  
 伊藤大介(有島記念館主任学芸員)

【協力】札幌駅総合開発株式会社

被撮影者については極力調査を致しましたが、お気づきの点がございましたらご連絡ください。

**前川茂利** [1930(昭和5) - 1999(平成11)年]は、開拓農家の二代目として小沢村(現・共和町小沢)に生まれました。小沢郵便局に外務員として勤務しながら、1948(昭和23)年からは、樺太などの引揚者や戦災被害者など農業未経験者が入植した、いわゆる「戦後開拓地」である小沢開拓地の人々の暮らしを撮影しはじめます。撮影対象はそこにだけには留まらず、後志(しりべし)の山村や漁村にも及び、それらの地域の人々の営みと風土とを、昭和20年代から高度経済成長期を経て平成期に至るまで記録しつづけた写真家です。また前川は、有島記念館があるニセコ(狩太)町にも多く足を運んでいます。そして、家族総出で行われていた機械化以前の農作業風景や今では失われたニセコ町市街地の光景などつぶさに撮影して、作品に残しています。

前川の没後の2013(平成25)年、数万点に及ぶ作品のネガやプリント

などは、ご遺族により共和町・かかし古里館に寄贈され、共和町教育委員会の手によって調査・研究が進められています。そして、これらの前川資料は写真作品としての価値に加え、共和町をはじめとした後志全域における貴重な郷土資料としての価値も有していることがあきらかになりつつあります。

本展では、共和町・かかし古里館が所蔵する前川作品の原版から、写真集や個展などで未発表のニセコ町内で撮影された作品を中心に、羊蹄山ろくや後志の山漁村を写し取った作品もあわせて展示します。それらの作品を通して、後志各地域の街並みの変遷やそこで暮らした人々の営みなどを紹介するとともに、後志における前川の活動の一端についても知っていただきたいと考えています。(敬称略)

## 前川茂利略歴

1930(昭和5)年、北海道小沢村(現・共和町)生まれ。少年期からカメラを手にして撮影し始める。1945(昭和20)年、小沢郵便局に就職。外務員として地域の人々と関わりを持ち、1948(昭和23)年からは、樺太引揚者や戦災者などが入植を行った「戦後開拓地」の人々を撮影しつづける。また土門拳らが唱導したリアリズム写真運動に傾倒する。多くのフォトコンテストや公募展に入賞・入選。個展『開拓地の暮らし』(1969-70年、東京、札幌、釧路)、『私が見たソビエト』(1975年、東京)、『積丹路 1954-1990』(東京、1994年)など。写真集『開拓地の暮らし 1948-1976』(1982年、自費出版)があり、これをもとにテレビドラマ『あさきゆめみし』(NHK、千秋実主演、1982年)が制作・放映される。1999(平成11)年没。



前川茂利(複写 渡辺洋一)

## ■ 会期中に開催される同展関連事業

### ◆ 担当学芸員によるギャラリートーク

[日時] 2016年6月25日(土)、8月20日(土) 各日13:00開始 [講師] 伊藤大介(有島記念館主任学芸員) [料金] 参加費無料(要観覧料)

### ◆ 講演会「なせ地域の歴史を掘り起こすのかー北海道における戦後開拓、空襲、捕鯨の歴史を中心に」

[日時] 2016年7月17日(日) 13:00開始 [講師] 菊地慶一(文筆家) [料金] 参加費無料

### ◆ ギャラリートーク「共和の写真家・前川茂利」

[日時] 2016年8月6日(土) 13:00開始 [講師] 磯崎亜矢子(共和町・西村計雄記念美術館学芸員) [料金] 参加費無料(要観覧料)

## ■ その他のイベント

### ◆ アート・コンサートinしりべしミュージアムロード

[日時] 2016年7月16日(土) 14:00開演 [出演] コンセール・アミ [料金] 無料

### ◆ しりべしミュージアムロード共同展「いろとかたちのシンフォニー 有島一族と音楽」

しりべし地域の美術館と文学館5館が共同企画する展覧会。今回の共通テーマは「美術と音楽」で、当館では有島一族と音楽との関わりについて紹介します。  
[日時] 2016年7月16日(土)～8月28日(日) [会場] 有島記念館常設展示室2階 [料金] 常設展観覧料のみ

### ◆ 永田斉子リユートコンサート「シェイクスピア時代のリユート音楽」

[日時] 2016年7月23日(土) 13:00開演 [講師] 永田斉子(リユート奏者) [料金] 常設展観覧料のみ

### ◆ 能登谷安紀子ヴァイオリンリサイタル

[日時] 2016年8月21日(日) 13:00開演 [講師] 能登谷安紀子(ヴァイオリン)、友清祐子(ピアノ) [料金] 常設展観覧料のみ



グランプリ受賞作品 伊藤正和「潮干狩り日和」

## ■ 同時開催の企画展

### 「北海道新幹線開業記念-大鉄道写真展 ニセコ展」

今年3月に札幌で開催された写真展の巡回展。約700点の応募作品の中から選ばれた90点を展示。

[日時] 2016年6月25日(土)～10月10日(月・祝)

[審査員] 荒川好夫(鉄道写真家) 矢野直美(フォトライター) 伊藤大介(有島記念館主任学芸員)

[会場] 有島記念館小ギャラリー [料金] 観覧無料 [協力] 札幌駅総合開発株式会社

## ニセコ町 有島記念館

北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 TEL.0136-44-3245

[交通アクセス] 自家用車 ▶ 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
J R ▶ ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km.)、タクシー5分  
バ ス ▶ 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分

[駐車場] 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

[常設展観覧料] 一般500円、高校生100円10名以上の団体は400円。  
中学生以下とニセコ町在住の65歳以上は無料。

